

がい こく せき けん みん
外国籍県民かながわ会議(第12期)
さいしゅう ほう こく しょ あん
最終報告書案
かい ぎ だい き
はっぴょう し りょう
発表資料



ねん がつ にち にちよう
2024年11月3日(日曜) 10:55~11:55

外国籍県民かながわ会議とは？

外国籍県民が、自らに関する施策や
外国籍県民の視点を生かした地域づくりに
関することを協議し、知事へ提言を
行うために設置しています。

<第12期：2023年1月～2024年12月>

じょうほう ぶかい
<情報部会>

ロボ・ナシメント (部会長)

いわまつ さ ゆ み (副委員長)

き せい
祁 静

は さん う
河 相宇

< 情報部会の提言 >

【提言 1】

神奈川県ホームページの外国籍県民に対する
情報提供の管理改善

【提言 2】

外国籍県民かながわ会議の委員以外の外国人の意見や
提案を幅広く集めて確認できる制度

【提言 3】

小学生、中学生向けの日本語のオンライン教室

【提言 1】

神奈川県ホームページの外国籍県民に対する 情報提供の管理改善

<現状と課題>

- ・ 県側に理解してほしい大事なことは、神奈川県のホームページの現況では外国籍県民にとって必要な情報がみつけづらいということです。
- ・ 一方で横浜市のホームページでは、ランディングページ（LP）で日本語が読めない人向けの分かりやすいリンクがあり、そのリンク先では多言語リンク集が提供されています。そのリンク集の中から、自分に合う言語を選択すると、ライフシーン別リンク集があるページが表示されます。

【提言 1】

神奈川県ホームページの外国籍県民に対する 情報提供の管理改善

<現状と課題>

- ・ 現況の神奈川県のホームページの上部には「Translate」という日本語が読めない人向けのリンクがあります。
- ・ ホームページではGoogleの自動翻訳サービスによる翻訳がされており、理解しにくいところが数々あります。
さらに、どんな情報がどこにあるか分かりにくく、必要な情報が探しにくいです。

【^{てい げん}提言 1】

^{か な がわ けん}神奈川県ホームページの^{がい こく せき けん ぶん}外国籍県民に対する^{たい} ^{じょうほう てい きょう}情報提供の^{かん り かい ぜん}管理改善

< ^{てい げん}提言の^{ない よう}内容 >

- ^{けん}県のホームページのトップページのコンテンツメニューに【^{がい こく せき けん ぶん}外国籍県民へ】
を^{つい か}追加する。（その^か代わりに、^{た げん ご}多言語を^{い み}意味するマークとしてウェブ^{じょう}上で
^{ひろ}広く^{つか}使われている^{ち きゅう}地球マーク^かでも可。）
- ^{がい こく せき けん ぶん む}外国籍県民向けに、イラストやマーク、やさしい^{に ほん ご}日本語、または^{た げん ご}多言語で
^か書かれた^{じょうほう}情報をカテゴリー（ライフシーン）ごとで^{けん さく}検索できるページにする。

【提言1】

神奈川県ホームページの外国籍県民に対する 情報提供の管理改善

< 提言の内容 >

- 既存の多言語情報リンク集を活用する
(制度やサービスの変更時などに定期的な更新が必要)。
- 希少言語などの対応が難しい場合、神奈川県に在住する
外国籍県民の国籍別の人口割合による主な言語、
またはやさしい日本語が必要。

【提言1】

神奈川県ホームページの外国籍県民に対する 情報提供の管理改善

< 情報提供改善の具体的な例 >



横浜市のLPの上部には、「Language」と書かれているリンクがあります

【提言 1】

神奈川県ホームページの外国籍県民に対する 情報提供の管理改善

< 情報提供改善の具体的な例 >



横浜市のLPにある「Language」のリンク先です

【^{てい げん}提言 2】

^{がい こく せき けん みん}外国籍県民かながわ^{かい ぎ}会議の^{い いん い がい}委員以外の^{がい こく じん}外国人の^{い けん}意見や ^{てい あん}提案を^{はば ひろ}幅広く^{あつ}集めて^{かく にん}確認できる^{せい ど}制度

<^{てい げん}提言の内容^{ない よう}>

- ・^{かい ぎ}会議の^{い いん い がい}委員以外の^{がい こく じん}外国人の^{い けん}意見や^{てい あん}提案を^{はば ひろ}幅広く^{あつ}集めて
^{かく にん}確認した^{うえ}上で、^{がい こく せき けん みん}外国籍県民かながわ^{かい ぎ}会議の^{い いん}委員が
^{てい げん}提言^{ない よう}内容とするか^{けん とう}検討し、^{てい げん}提言していく。

【^{てい げん}提言 3】

^{しょう がく せい}小学生、^{ちゅう がく せい む}中学生向けの^{に ほん ご}日本語の^{きょうしつ}オンライン教室

<^{てい げん}提言の^{ない よう}内容>

- ^{げん ざい}現在の^{に ほん ご きょうしつ}日本語教室は、^{おとな む}大人向けの^{に ほん ご きょうしつ}日本語教室が^{おお}多いため、
^{に ほん す}日本に住んでいる^こ子どもたち向けを^むメインに^{すす}進めたいと
^{かんが}考えております。
- ^{りょう しん}両親が^{とも ばたら}共働きで、^{に ほん ご きょうしつ}日本語教室に^{かよ}通いたくても^{かよ}通えず、
^{に ほん がっ こう かよ}日本の学校に通っている^こ子どもたち向けにオンライン
^{きょうしつ}教室を^{せつ りつ}設立する。

【提言 3】

小学生、中学生向けの日本語のオンライン教室

< 提言の内容 >

- 日本の学校に通う子どもの多くは、学校で開かれる国際教室に参加しており、その中には自宅に帰っても学びたい子どもたちがいるため、オンライン教室でも、国際教室と同じ教わり方で学べれば、ベストです。
- また、教える先生も、研修を受けて専門的な知識がある方を勧めます。そこで、教育分野で来ている留学生の方々にも、就職先が増やせるチャンスとも思っております。

<次世代・教育部会>

しょう きん い (ぶ かい ちょう)
肖 欣怡 (部会長)

ゆう だい たつ (ふく い いん ちょう)
兪 大達 (副委員長)

サプコタ ドルラズ

しょう こう めい
蒋 香梅

レ ダンコア

はん ちゃん ひ
韓 昌熹

<次世代・教育部会の提言>

【提言4】

神奈川県立高等学校における国際理解クラブ
活動を促進するモデル事業

【提言4】

神奈川県立高等学校における国際理解クラブ 活動を促進するモデル事業

＜提言の内容＞

グローバル社会を深く理解し一緒に「ともに生きる社会を
つくる」人材育成のため神奈川県立高等学校の生徒を対象
とした国際理解クラブ活動を促進するモデル事業を実施する。

【提言^{ていげん}4】

神奈川県立高等学校における国際理解クラブ
活動を促進するモデル事業

<具体的な内容>

- ・場所：神奈川県立高等学校など
- ・対象：高校生（国籍を問わず、どなたでも参加できる）

【提言4】

神奈川県立高等学校における国際理解クラブ 活動を促進するモデル事業

<具体的な内容>

・内容：

国際理解、多文化共生、日本語教育、母語(継承語)・母文化教育等

外国人コミュニティや外国籍県民などが活躍できる場づくり

生徒が互いに交流することを促進する

既存の支援団体や活動（あーすフェスタ）などと連携したい

【提言 4】

神奈川県立高等学校における国際理解クラブ 活動を促進するモデル事業

<計画・方向性>

- ・短期的：教育委員会、神奈川県内の外国につながる生徒が多い（見込みを含む）

高等学校に打診し、国際理解クラブのあり方について検討する



- ・中期的：国際理解クラブを実際に運営し、モデル事業として実績を出す



- ・長期的：神奈川県内における高等学校に情報共有し、ノウハウを広げる

【^{てい げん}提言 4】

^{か な がわ けん りつ こう とう がっ こう}神奈川県立高等学校における^{こく さい り かい}国際理解クラブ ^{かつ どう そく しん}活動を促進するモデル事業^{じ ぎょう}

<^{てい げん り ゆう}提言理由>

- ・^{た ぶん か きょうせい しゃ かい}多文化共生社会→^{こく さい り かい きょういく}国際理解教育の^{じゅうよう せい}重要性が高まっている^{たか}
- ・^{がい こく せき けん みる}外国籍県民の^{ち いき しゃ かい}地域社会で^{かつ やく}活躍できる^ば場が必要^{ひつ よう}
- ・^{こう こう せい}高校生を対象とする：^{たいしょう}高校でも^{こう こう}一貫した^{いっ かん}国際理解^{こく さい り かい}の^{きょういく かんきょう}教育環境が必要^{ひつ よう}
- ・^{がっ こう げん ば}学校現場を^{かつ どう}活動の^{ば しょ}場所とする：^{しゃ かい}社会に^{ひろ}広く^{はっ しん}発信できる
- ・^{き ぞん だん たい}既存団体と^{れん けい}連携：^{がっ こう}学校が^う受け入れやすい、^い事業^{じ ぎょうこう か}効果が^{ひろ}広がる

しゃ かい ふく し ぶ かい
< 社会福祉部会 >

リディア ワンタ (部会長)

り ゆ ちょん し る い いん ちょう
柳 晴実 (委員長)

す ず き
鈴木 クリスティーナ

き む え よん
金 愛蓮

ハリロバ ナタリア

< 社会福祉部会の提言 >

【提言 5】

外国人保護者と子どものための教育支援、発達障害の子どもに対する
支援の実態把握と課題の明確化、保護者への情報提供の拡充

【提言 6】

外国人の高齢化に向き合う支援

～「外国人高齢者支援ステーション(仮)の設置と「集いの場」作り～」

【提言 7】

通訳ボランティアのための支援

～ボランティアが保護され、力を伸ばすことができる施策の必要性～

【提言 5】

外国人保護者と子どものための教育支援、発達障害の子どもに対する 支援の実態把握と課題の明確化、保護者への情報提供の拡充

< 提言の内容 >

- ① 神奈川県内の小中高の現場において、特別支援学級に通う外国人
児童・生徒の実態や支援状況について調査し、結果を保護者や
支援者、関係者に公開する。
- ② 発達障害に関する外国人保護者向けの分かりやすい資料や説明会を、
多言語で開催する。

【提言 6】

外国人の高齢化に向き合う支援

～「外国人高齢者支援ステーション(仮)の設置と「集いの場」作り～」

< 提言の内容 >

- ①外国人高齢者やその家族が、老後の生活や福祉サービスなどについて、
多言語で相談できる施設を設置する。
- ②外国人高齢者やその家族からの相談に対応できる「外国人高齢者支援
コーディネーター(仮)」を置く。
- ③同じ外国人という立場の高齢者が集う場をすることで、外国人高齢者が
孤立せず、必要な時に必要なサービスに出会える機会を保証する。

【^{てい げん}提言 7】

^{つう やく}通訳ボランティアのための^{し えん}支援

～ボランティアが^{ほ ご}保護され、^{ちから の}力を伸ばすことができる^{し さく}施策の^{ひつよう せい}必要性～

<^{てい げん}提言の^{ない よう}内容>

- ①^{か な がわ けん}神奈川県や^{けん}県が^{れん けい}連携している^{かん けい き かん}関係機関が^{じっ し}実施する^{けんしゅうかい}研修会で、
^{しん り}心理カウンセリングなどの^{けんしゅう}研修を^{つい か}追加する。
- ②^{か な がわ けん がい こく じん}神奈川県外国人^{せん よう そう だん まど ぐち}専用相談窓口の^{じ かん がい}時間外に、^{じん こう ち のう}人工知能ChatGPTなどのAIを
^{せつ ち}設置し、^{かん たん}簡単な^{とい あわ}問合せの場合には、^{ば あい}外国人からの^{がい こく じん}電話相談に^{でん わ そう だん}人工知能の
^{おん せい}音声で^{こた}答えられるようにする。
- ③^{に ほん ご し えん}日本語支援や^{ぼ ご わ しゃ し えん}母語話者支援を^{つづ}続けるため、その人材に^{じん ざい}妥当な^{だ とう}報酬を^{ほうしゅう}支払う。

ご^{せい}清^{ちょう}聴ありがとうございました。